

「呼吸と循環」第62巻 総目次

2014年（第1号～第12号）

数字は通巻頁数，（ ）は号数

特 集

■ Structural Heart Disease に対するカテーテル介入
インターベンション

- 総論……………林田健太郎……………6(1)
 大動脈弁狭窄症……………溝手 勇……………11(1)
 僧帽弁逆流症(MR)―Mitral Clip―
 ……………衣笠 良治・山本 一博……………18(1)
 経皮的左心耳閉鎖術……………原 英彦……………23(1)
 心房中隔欠損(ASD)・心室中隔欠損(VSD)
 ……………中西 敏雄……………30(1)
 卵円孔開存(PFO)
 ……………赤木 禎治・木島 康文……………37(1)
 動脈管開存(PDA)のカテーテル閉鎖術
 ……………矢崎 論……………43(1)

■ COPD 治療のさらなる展開を目指す―ガイドライン第4版を巡って―

- COPD ガイドライン第4版の目指したところ……………永井 厚志……………103(2)
 オランダ仮説を分子レベルから探る
 ……………橋本 修・伊藤 玲子
 ……………丸岡秀一郎・権 寧博……………108(2)
 慢性気道炎症と感染制御……………松元幸一郎……………114(2)
 COPD 慢性炎症へのマクロファージの関与……………峰松 直人・別役 智子……………121(2)
 COPD 慢性炎症における獲得免疫
 ……………花岡 正幸……………128(2)
 COPD 慢性炎症における細胞老化
 ……………辻 隆夫・青柴 和徹……………135(2)
 COPD と CPFE(肺気腫合併肺線維症)
 ……………金澤 實……………141(2)
 COPD と喘息のオーバーラップを分子レベルから探る……………檜澤 伸之……………148(2)

■ 最新の心房細動治療戦略―長期持続性心房細動に対するアブレーション―

- 序文……………青沼 和隆……………203(3)
 長期持続性心房細動に対するアブレーション

- を踏まえた新たなリズムコントロールの提案……………横山 泰廣・平尾 見三……………205(3)
 長期持続性心房細動に対するアブレーションの適応―どこまで長期の心房細動にアブレーションするのか―蜂谷 仁……………211(3)
 アブレーションの新たな考え方―過剰アブレーションの問題点……………桑原 大志……………218(3)
 心房細動における炎症の役割―基礎的立場から炎症を捉える
 ……………福井 暁・高橋 尚彦……………226(3)
 新しいコンセプトによるアブレーション―Focal Impulse and Rotor Modulation(FIRM)法……………中原 志朗……………233(3)
 新時代アブレーション―バルーンアブレーション
 矢崎 義直・Gian-Battista Chierchia……………237(3)
 新時代アブレーション―透視レスのアブレーション……………山崎 浩……………245(3)
 左心耳閉鎖術による塞栓症予防
 ……………松尾 弥枝……………251(3)
- 呼吸器領域の新しい薬物療法
 気管支喘息……………浅野浩一郎……………301(4)
 COPD
 平田 一人・栩野 吉弘・浅井 一久……………307(4)
 肺癌の個別化医療
 ……………小山 良・高橋 和久……………319(4)
 特発性肺線維症……………坂本 晋・本間 栄……………325(4)
 急性呼吸窮迫症候群に対する新しい薬物療法……………田坂 定智……………331(4)
 肺高血圧……………佐藤 徹……………338(4)
 肺感染症(結核を含めて)……………館田 一博……………345(4)
- 利尿薬をめぐる諸問題
 序文……………廣谷 信一・増山 理……………409(5)
 利尿薬抵抗性の病態と対策
 森 建文・大場 郁子・小泉 賢治
 古庄 正英・伊藤 貞嘉……………410(5)
 急性心不全におけるループ利尿薬の使い方
 ……………廣谷 信一……………417(5)

利尿薬としてのカルペリチドの意義, 有用性, 限界性……………安村 良男…423(5)	
バソプレシン受容体拮抗薬への期待と課題……………高木 宏治・佐藤 直樹…427(5)	
バソプレシン受容体拮抗薬の効く患者, 効かない患者……………絹川弘一郎…432(5)	
慢性うっ血性心不全におけるループ利尿薬の使い方……………小熊 康教・伊藤 宏…439(5)	
心不全治療におけるミネラルコルチコイド受容体遮断薬……………山本 一博…444(5)	

■ 疾患と運動時低酸素血症

運動時低酸素血症の病態生理…小山田吉孝…506(6)	
運動時低酸素血症を来す疾患の画像……………一門 和哉…512(6)	
労作時低酸素血症を来す疾患の病理……………鶴野 広介・福岡 順也…519(6)	
特発性肺線維症…猪俣 稔・吾妻安良太…526(6)	
肺高血圧症……………重田 文子・田邊 信宏・巽 浩一郎…531(6)	
運動時低酸素血症の呼吸リハビリテーション……………北川 知佳・千住 秀明…537(6)	
COPDと運動時低酸素血症……………佐藤 晋・室 繁郎…545(6)	

■ 高血圧治療ガイドライン 2014 を考える

序文……………島本 和明…619(7)	
家庭血圧の評価と血圧分類……………星出 聡・菊尾 七臣…620(7)	
リスクの層別化による治療の手順と降圧目標……………長谷部直幸…627(7)	
第一選択薬と合剤の位置づけ…島田 和幸…633(7)	
CKD 合併高血圧の治療……………伊藤 貞嘉…639(7)	
糖尿病(DM)合併高血圧の治療……………宮下 和季・田中 正巳・伊藤 裕…645(7)	
脳血管障害合併高血圧の治療…棚橋 紀夫…656(7)	
心疾患合併高血圧の治療……………甲斐 久史…662(7)	
高齢者高血圧の治療……………山本 浩一・楽木 宏実…670(7)	
妊娠高血圧の治療……………鈴木 洋通…675(7)	

■ 呼吸器感染症診療の変貌

災害時の呼吸器感染症……………高橋 進・櫻井 滋…733(8)	
医療・介護関連肺炎(NHCAP)ガイドライン~その後の展開~……………関 雅文…738(8)	
マイコプラズマ肺炎の画像診断……………宮下 修行…743(8)	
結核感染症の診断の最新動向…佐々木結花…749(8)	

非結核性抗酸菌症対策

……………森本 耕三・倉島 篤行…755(8)	
感染を記憶する骨髄……………常世田好司…763(8)	
アレルギー性気管支肺真菌症……………西田 篤司・亀井 克彦…769(8)	

■ 遺伝性不整脈

序文……………清水 渉…825(9)	
遺伝性不整脈の遺伝子診断の歴史……………蒔田 直昌…827(9)	
遺伝性不整脈の診断とマネージメントのUp-to-Date—3 大陸不整脈学会 Expert Consensus Statement を中心に……………堀江 稔…832(9)	
遺伝性不整脈の病態に基づいた薬物治療……………杉山 洋樹・森田 宏…841(9)	
遺伝性不整脈の非薬物治療の適応と可能性……………林 明聡・清水 渉…847(9)	
遺伝性不整脈診断の新たな展開と可能性—網羅的ゲノム解析, 全エクソン解析, ゲノムワイド関連解析……………渡部 裕・南野 徹…856(9)	
iPS細胞を用いた遺伝性不整脈の病態解明と個別化医療の可能性……………湯浅 慎介…863(9)	

■ 環境因子と呼吸器疾患

大気汚染と呼吸器疾患: PM2.5 を中心に……………辻 晋吾・滝澤 始…921(10)	
環境因子と気管支喘息……………丸岡秀一郎・権 寧博・橋本 修…933(10)	
職業性喘息……………土橋 邦生…940(10)	
環境因子と COPD: 非喫煙者 COPD を中心に……………浅野浩一郎…947(10)	
環境因子と間質性肺炎……………半田 知宏…951(10)	
レアメタルと呼吸器疾患……………中野真規子・大前 和幸…956(10)	
環境因子と呼吸器悪性腫瘍……………森瀬 昌宏・長谷川好規…963(10)	

■ CABG を科学する

序文……………高梨秀一郎…1016(11)	
両側内胸動脈はゴールドスタンダード! 科学的検証から……………木下 武・浅井 徹…1018(11)	
橈骨動脈グラフトの正しい使用法について……………小宮 達彦…1027(11)	
コンボジットグラフトは有効な治療戦略になり得るか?……………真鍋 晋…1033(11)	
グラフトデザインと冠血流量……………	

……………小山 紗千・板谷 慶一…1040(11)	長山 拓希・荳澤 和人・末吉 英純
SVGを見直す……………福井 寿啓…1048(11)	坂本 一郎・上谷 雅孝……………154(2)
心拍動下冠動脈吻合を科学する	心不全・肺水腫
……………横山 斉…1055(11)	小野 修一・三浦 弘行・澁谷 剛一
血管吻合トレーニングを科学する：OP-	対馬 史泰・清野 浩子・掛端 伸也
CABトレーニングシミュレータによ	角田 晃久・藤田 大真・高井 良尋…256(3)
る吻合部内腔形態とエネルギー損失の	気管支喘息と細気管支疾患…………松岡 伸…351(4)
検討	COPDと肺気腫……………岩澤多恵…450(5)
朴 栄光・岩崎 清隆・梅津 光生…1060(11)	中枢気道疾患…………小林 圭悟・高橋 康二…552(6)
■ 気管支喘息 最新の話題	慢性経過のびまん性肺疾患(間質性肺疾患)
気管支喘息とガイドライン…………大田 健…1129(12)	楊川 哲代・酒井 文和・山本 亜矢
経皮, 経腸感作と喘息発症	木村 隆誉・鈴木 瑞佳・高木 康伸…683(7)
煙石 真弓・加藤 政彦・望月 博之…1137(12)	急性経過の間質性肺炎(急性増悪を含む)
難治化の要因……………横山彰仁…1144(12)	新田 哲久・高橋 雅士・園田 明永
フリー IgE 測定の意義	大谷 秀司・永谷 幸裕・村田喜代史…776(8)
伊藤 玲子・権 寧博・橋本 修…1150(12)	嚢胞性肺疾患…………鈴木 一廣・瀬山 邦明
新規喘息治療：吸入ステロイド/ β_2 刺激薬	飛野 和則・桑鶴 良平…868(9)
配合薬, 抗コリン薬…………一ノ瀬正和…1155(12)	肺胞性肺疾患……………負門 克典…969(10)
吸入薬の特長と選択……………田村 弦…1161(12)	胸膜胸壁疾患・神経筋疾患…………叶内 哲…1069(11)
分子標的薬治療……………多賀谷悦子…1167(12)	ARDS……………一門 和哉…1173(12)

巻頭言

カテーテルアブレーションの進歩	呼吸器疾患とオートファジー
……………埴田 浩……………5(1)	……………水村 賢司・橋本 修……………55(1)
変化を厭わない……………山本 信之……………101(2)	体内時計と心血管疾患
神様の作った「生き物」の仕組み	……………錦戸 利幸・野出 孝一……………61(1)
……………大石 充……………202(3)	衛生仮説再考……………丸岡秀一郎…165(2)
今度こそ本物? : 癌の免疫治療	冠攣縮性狭心症に対する和温療法の効果
……………星野 友昭……………299(4)	……………石井 克尚……………171(2)
Brugada 型心電図・早期再分極(J波)波形	気管支喘息の natural history…………大田 健…356(4)
にどう対処するか……………高橋 尚彦……………407(5)	川崎病の臨床像と治療戦略
肺炎と心不全との接点……………藤田 次郎……………505(6)	……………扇原 義人・石井 正浩……………363(4)
Less is more……………阿古 潤哉……………617(7)	皮膚バリアとアレルギーマーチ
注目の疾患群—COPDと肺癌—	……………末廣 豊……………457(5)
……………磯部 威……………731(8)	収縮性心膜炎……………大西 俊成・中谷 敏……………464(5)
ストレスと心臓病……………明石 嘉浩……………823(9)	呼吸器疾患におけるマクロライド系抗菌薬
転職と天職……………別役 智子……………919(10)	の役割……………小宮 幸作・門田 淳一……………558(6)
心不全治療：全身臓器を見据えた包括的治	ハートチーム—心エコー医から見た米国で
療……………福本 義弘……………1015(11)	の弁膜症治療の現況……………塩田 隆弘……………568(6)
高地医学研究から学んだこと……………花岡 正幸……………1127(12)	多様な気道上皮細胞と Notch シグナルに

呼吸機能障害を来す病態の画像

肺高血圧症……………西本 優子……………49(1)	肺の構造・機能解析における CT の役割
肺血栓塞栓症	……………鈴木 雅……………786(8)

綜 説

呼吸器疾患とオートファジー	肺線維症と増殖因子シグナル…………西岡 安彦…873(9)
……………水村 賢司・橋本 修……………55(1)	大規模臨床試験における統計学的数値の読
体内時計と心血管疾患	
……………錦戸 利幸・野出 孝一……………61(1)	
衛生仮説再考……………丸岡秀一郎…165(2)	
冠攣縮性狭心症に対する和温療法の効果	
……………石井 克尚……………171(2)	
気管支喘息の natural history…………大田 健…356(4)	
川崎病の臨床像と治療戦略	
……………扇原 義人・石井 正浩……………363(4)	
皮膚バリアとアレルギーマーチ	
……………末廣 豊……………457(5)	
収縮性心膜炎……………大西 俊成・中谷 敏……………464(5)	
呼吸器疾患におけるマクロライド系抗菌薬	
の役割……………小宮 幸作・門田 淳一……………558(6)	
ハートチーム—心エコー医から見た米国で	
の弁膜症治療の現況……………塩田 隆弘……………568(6)	
多様な気道上皮細胞と Notch シグナルに	
よる分化制御……………森本 充……………689(7)	
肺の構造・機能解析における CT の役割	
……………鈴木 雅……………786(8)	
肺線維症と増殖因子シグナル…………西岡 安彦…873(9)	
大規模臨床試験における統計学的数値の読	

み方……………後藤 雅史・香坂 俊…………879(9)	
静脈血栓塞栓症の治療における新規抗凝固薬……………中村 真潮…………974(10)	
高齢者における気管支鏡検査の注意点……………芳賀 高浩・巽 浩一郎…………1075(11)	
ダイレクトリプログラミングの新展開……………秋山 瑞葉・家田 真樹…………1081(11)	
肺のミクロ・マクロ力学場の統合に向けた肺細葉の形態解析と数値モデリング……………和田 成生・越山顕一郎 肖 蘿莎・世良 俊博…………1179(12)	
Fabry 病・心 Fabry 病の心障害……………竹中 俊宏…………1189(12)	

Bedside Teaching

FeNO 測定の意義と臨床……………杉浦 久敏…………67(1)	
閉塞性肥大型心筋症の治療—PTsMA(経皮的中隔心筋焼灼術)……………前川裕一郎…………75(1)	
生物学的製剤による呼吸器有害事象—関節リウマチ患者について—……………大河内康実・徳田 均…………175(2)	
ASV を科学する……………百村 伸一…………182(2)	
ネーザルハイフロー……………横山 俊樹…………263(3)	
末期心疾患に対する緩和医療……………野々木 宏・大石 醒悟…………269(3)	
肺癌診療における超音波気管支内視鏡の役割……………吉田 成利・中島 崇裕 鎌田 稔子・吉野 一郎…………369(4)	
高感度トロポニン T 測定により明らかにされてきたこと……………羽田 朋人・清野 精彦…………376(4)	
携帯情報端末を利用した吸入指導……………権 寧博・伊藤 玲子・古川 典子 丸岡秀一郎・橋本 修…………471(5)	
周産期心筋症……………塚本 泰正・坂田 泰史…………476(5)	
COPD 患者と身体活動性……………平松 政高・南方 良章…………578(6)	
エイコサペンタエン酸/アラキドン酸(EPA/AA)比……………島田 和典…………583(6)	
6分間歩行試験……………宮本 顕二…………697(7)	
CGM: continuous glucose monitoring (持続血糖モニター)……………西村 理明…………793(8)	
アスペルギルス感染症……………田代 将人・泉川 公一…………886(9)	
Drug-Coated Balloon……………樋口 義治…………893(9)	

MRI 対応ペースメーカー……………山根 禎一…………983(10)	
呼吸器科医が遭遇する Birt-Hogg-Dubé 症候群……………江花 弘基・溝渕 輝明・岩渕千雅子 熊坂 利夫・瀬山 邦明・栗原 正利…………1087(11)	
好酸球性心筋炎……………藤野 剛雄・波多野 将…………1095(11)	
腫瘍随伴症候群の一つとしての Trousseau 症候群……………上浪 健・木村 紀久・森 雅秀…………1195(12)	
超高齢者の冠血行再建術……………原田 和昌…………1201(12)	

Current Opinion

閉塞型睡眠時無呼吸と認知機能……………近藤 哲理…………82(1)	
高血圧と非薬物的降圧治療(塩分制限から腎アブレーションまで)……………小川 裕二・長谷部直幸…………87(1)	
マイコプラズマ肺炎の治療……………宮下 修行…………187(2)	
耐性菌……………大曲 貴夫…………279(3)	
PCI か CABG か内科的療法か—内科の立場から……………中川 義久…………284(3)	
ECMO の有用性について……………杉田 慎二・小林 克也・竹田 晋浩…………381(4)	
CABG か PCI か内科治療か—外科の立場から……………天野 篤・梶本 完・鶴田 亮…………387(4)	
HFpEF の薬物治療のエビデンス……………筒井 裕之…………481(5)	
喫煙と肺循環障害……………花岡 正幸…………592(6)	
心臓リハビリテーション・運動療法の最新動向……………後藤 葉一…………597(6)	
PAD の標準治療と最新治療—外科の立場から……………馬場 健・石田 厚 大木 隆生…………704(7)	
ARDS の最新定義と治療……………林 伸一…………800(8)	
悪性中皮腫の診断と治療……………岸本 卓巳…………899(9)	
先天性心疾患における肺高血圧症の治療—肺動脈性肺高血圧を中心に—……………八尾 厚史…………905(9)	
肺炎球菌ワクチンの最新の知見……………丸山 貴也…………987(10)	
急性冠症候群の血管内イメージングの現況……………廣 高史…………993(10)	
間質性肺炎合併肺癌の治療……………小山 信之…………1102(11)	
PAD の標準治療と最新治療—内科の立場	

から

- 飯田 卓馬・飯田 修・上松 正朗…1109(11)
心エコーから見た心力学
……………大西 俊成・中谷 敏…1207(12)

呼吸器内科医への留学のすすめ

- バンクーバー研究留学体験記…鈴木 雅…393(4)
留学先の探し方と Lung Homeostasis の研
究……………佐藤 篤靖…487(5)
シカゴ大学留学体験記……………猪島 一郎…605(6)
アメリカ単身留学……………中村 茂樹…713(7)

研 究

- バレニクリンを用いた禁煙治療：血圧と体
重変化の検討
……………岡崎 伸治・上田 恵一…491(5)
肺動脈性肺高血圧症治療における診療実態
調査……………波多野 将・藤山 直人
中島 康夫・早田 悟…805(8)
マウスの実験的動脈硬化に対するエリスロ
マイシンの効果

- 島田 佳奈・木村 剛・岸本 千晴…1116(11)
解剖学的残存肺容積率による肺葉切除後の
予測呼吸機能評価……………高橋 典之…1213(12)

症 例

- 胸腔ドレーンによる高圧吸引が vacuum
assisted closure (VAC) 療法的効果を
呈した膿気胸の1例
家村 順三・山本 芳央・神原 篤志…717(7)
冠動脈瘤を合併した冠動脈狭窄に対しオフ
ポンプ冠動脈バイパス術および cov-
ered stent 留置術を二期的に施行した
1例
佐々木昭暢・田中喜美夫・寺田 康…998(10)
多発性骨髄腫に肺血管性肺高血圧症を合併
した1例
池田 秀之・高橋 徹・加賀谷裕太
阿部 秋代・神津 克也・佐藤謙二郎
中嶋 壮太・遠藤 秀晃・中村 明浩
野崎 英二……………1002(10)
大動脈四尖弁による大動脈弁閉鎖不全症の
1例……………佐々木昭暢・寺田 康…1220(12)